赭鞭放言（其一）

久内清孝

○おほばのきはだ　一名ふじきはだ（*Phellodendron japonicum* MAXIM.）ノ普通ノ産地トシテ富士山一合目附近、箱根、丹澤山系等ノ中腹ヲ知ツテ居ルガ、本年夏、相州二ノ宮在國分村黒岩ニモ自生シテ居ルコトヲ知ツタ。同地ハ約 130 m 位ノ高サノ低地デアルカラ、本植物ノ低地ニ産スル一例トスルニ足ル。

○ほそばのせんだんぐさノ産地　ほそばのせんだんぐさ（*Bidens parviflora* WILLD.）ガ滿洲ヤ朝鮮ニハ知ラレテ居リ、朝鮮デハ桐花菜ノ名デ呼バレテ居ルコトハ森爲三氏ノ朝鮮植物名彙デ判ル。我國デハ飯沼慾齋ガ草木圖說第十五卷ニ圖說シテ居リ、其ノ牧野先生ノ校訂版第三輯 p. 1064 ニハ「本種江州邊ニ野生ス。蓋シ往時原ト國外ヨリ入リシモノ等」ト云フ牧野先生ノ補註ガアル。事實江州伊吹山下ナル對山館前面ノ路傍ニ之ヲ見ルノデアルガ、余ハ本年科學博物館ノ採集ノ折、之ガ甲州釜無川ノ沿岸圓井（ツブラヰ）一折居間ニ無數ニ生エテ居ルノヲ見タ。余ノ見タノハ勿論花ナキ幼本ダガ斷ジテ誤リナイカラ釜無川ノ流域ニハドコニモ存スルモノト信ズル。一見ぶたくさノ樣ダガ嗅覺ヲ働カセバ直チニ區別出來ル。

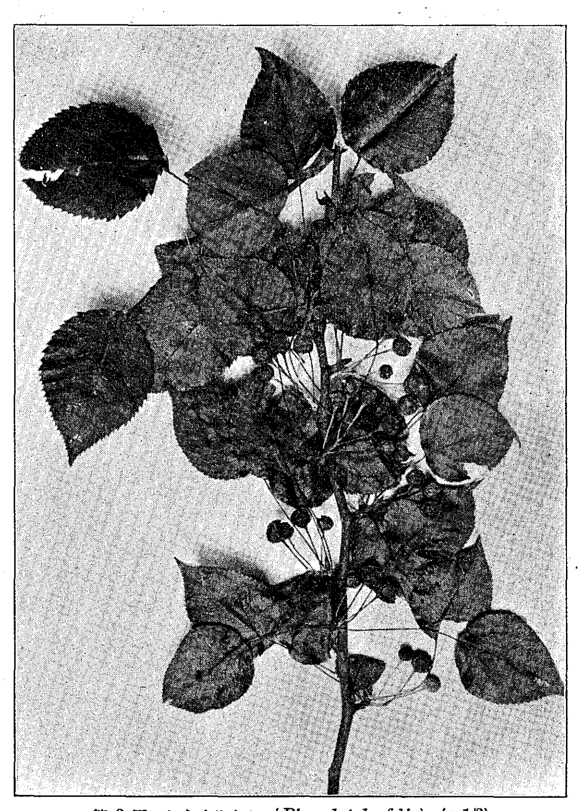


第1圖　甲州ヨリ移植シ東京デ開花シタほそばせんだんぐさ（*Bidens parviflora*）（花期ノ一枝）ノ葉形ヲ示ス（×2/3）

○うらじろうこぎノ産地　うらじろうこぎ（*Acanthopanax hypoleucum* MAKINO）ガ植物學雜誌 XII (1898) デ發表サレテカラ四十年、此間本州各地カラ報告サレタガ今倘本州デハ珍ラシイモノヽ一ツデアル。最近ニハ猪熊泰三氏ガ秩父演習林中デ發見シ、檜山庫三氏ハ甲州三ツ峠デ採ツテ居ル。余ハ本年甲州鳥井峠ノ原生林ラシイ林中デ之ヲ見タ。從ツテ本州デ千米突位ノ高度ノ林中ニハ各所ニアルノデハナイカト考ヘラレル樣ニナツタガ今、倘本州デハ珍ラシイモノヽ一ツデアラウ。或ハ其斷枝片葉ガこしあぶら位デ片付ケラレテ居ルノカモ知レナイ。

○うすげさんかくづるノ正體　うすげさんかくづる（**Vitis tsukubana** F. MAEKAWA,

comb. nov. = *Vitis flexuosa* TH. var. *tsukubana* MAKINO) ガ各地カラ報告サレルガ其全部トハ云ハナイガ大部分ハ普通ノさんかくづるノ葉裏脈上ニ多少ノ毛ノアル形デ、決シテうすげさんかくづる其モノデハナイ。眞正ノモノハ大正十二年 (29 VII 1923) ニ余ガ牧野先生ト常州筑波山（辨慶七戻リノ岩ヨリ數丁下）デ採ツタモノデ老葉ト雖モ葉裏ニ淡褐色ノ綿毛密布シテ居ルモノデアル。當時牧野先生ハけさんかくづるト教ヘラレタガ毛さんかくづるハ葉ノ表面ニ强剛毛ノ密生セル別物デ本邦西南地方ノモノデ四國カラハ早クカラ知ラレテ居ル。うすげさんかくづるハ筑波山以外ニハ餘リ產地ヲ知ラナイガ、東大ノ腊葉庫ニハ和歌山縣西牟婁郡上秋津村左向谷デ中島濤三氏ノ採ラレタ標本ガ數葉貯藏サレテ居ルカラ本州中部ニハ存在スルノデアラウ。一般人ノ參考トシテ當時ノ採品ヲ東京科學博物館ニオク。尙筑波山ニハ本品ハ寧ロ稀デ普通ノ三角づるガ饒產スルカラ波筑山ノドレモガ var. *tsukubana* ト思ハバソレコソイツモ柳樹下ニどぜうヲ聯想スルノト齊シイコトニナル。



第２圖　からまめなし (*Pirus betulaefolia*) (×1/3)

○からまめなしノ生本ガ帝都ニアル　からまめなしハ云フ迄モナク支那產ノモノデアルガ小泉源一氏ガ新撰植物圖編第 IV 卷 243 圖 (1919) デ圖說命名（和名ニ）サレタモノデ *Pirus betulaefolia* BUNGE デアル。東大ニハ黃以仁氏ノ標本ガ數葉アル。ソレガ本年偶然ニモ東京駒場ナル農業教育專門學校（舊東京帝大農業教員養生所）ニ「パラダイス」ト稱シ栽培サレテ居ルノガ判ツタ、恐ラク林業試驗場ノ杜仲ト共ニ吾々ノ立場カラ見タ名木デアルト斷言出來ル、從ツテ同校ハ之ヲ保存スルノ大ナル義務ガアル譯デアルガ校長以テ如何トナス。某氏ノ言ニヨレバ多分故原熙博士ノ遺品デアラウトノコトデアル。之ナドハ骨董的記念木ヨリモ遙ニ貴イモノデアル。因テ標本ヲ科學博物館デ誰レニモ見ラレル樣ニシテオイタ。由來なしト言ヘバ何人モ果實ノ利用ヲ考ヘル、

其點カラ見レバ本種ハ全ク無價値カモ知レナイガ、シカシ臺木ニモナルシ、マタ BAILEY 氏ナドハ本種ノ觀賞的價値ヲ强調シテ居ル位ダカラ、アナガチ捨テタモノデモアルマイ。其後小泉源一博士カラ北京産ノ標本ヲ頂イタガ、ソレト之トハ多少違フ樣デアルガ私ハ決定シ兼ネル。

○ Monotropa モ亦我ガ國ニ産ス

筆者ハ本誌第十四卷第六號 426 頁ニ我ガ國デ *Monotropa uniflora* L. ニ當テテキタモノノ大部分ガ *Monotropastrum* デアル事ヲ報告シタガ、眞ノ *Monotropa* モ亦我ガ國ニ産スル事ガ明カニナツタ。今迄標本デ二三ソレラシイモノヲ見タガ生品デ確メル機會ガナカツタ所、本年 9 月 18 日久內淸孝氏ハ武藏高麗村デ開花シタ生品ヲ採集サレ私ニ送ツテ下ツタ。全體白色デ外形ハ頗ルヨク *Monotropastrum* ニ似テ居テ一見識別困難デアルガ、莖ハ上部マデ全ク無毛デ、花瓣ハ 5 枚、雄蕋ハ 10 本、內面ノ毛ハ花絲ノ毛ト共ニ *Monotropastrum* ニ比シ稍少ク軟カイ。最モ著シイ差異ハ花ノ內部デ、葯ハ 2 條ノ隙間デ裂開シ、*Monotropastrum* ノ樣ニ橢圓形ノ蓋デ開口シナイ。子房ハ縱ニ淺イ 10 條ノ溝ガアリ、5 室デ 5 個ノ凸出シタ中軸胎座ヲ有シ、胚珠ハ細長ク、花柱ハ子房カラ明カニ區別デキ、柱頭ハ決シテ藍色ヲオビズ稍黃褐色ヲ呈スル。一方 *Monotropastrum* デハ子房ハ球狀デ殆ド溝ナク先端ハ花柱ニ連ナリソノ境ハ不明デ、中ハ 1 室デ 6-13 個ノ凸出シタ側膜胎座ヲ有シ、胚珠ハ圓ク、柱頭ハ藍色ヲオビルノガ普通デアル。又 *Monotropa* ハ蒴果デ 5 裂片ニ裂開シ、種子ハ鋸屑狀デアルガ、*Monotropastrum* デハ漿果デ種子ハ廣橢圓形デアル。發生ノ時期ハ今迄ノ所 *Monotropa* ハ秋ニ知ラレテキルノミデアルガ、*Monotropastrum* ハ 5 月カラ 10 月マデ發生スル。扨テ和名ノ問題デアルガコレヲ正確ニ當テル事ハデキナイガ、我國デハ *Monotropastrum* ノ方ガ普通ノ樣デアルカラ、ぎんりようさう（いうれいたけ）ノ名ハソノ方ヘ殘シ、*Monotropa* ノ方ヘハ**いうれいたけもどき**ノ新名ヲ付スル事ニスル。次ニいうれいたけもどきガ *M. uniflora* L. ト同種カ否カトイフ事デアルガ、米國産ニ比シ莖ガ太ク鱗片葉モ幅ガ廣イ樣ニ思ハレルカラ假ニ **Monotropa nipponica** HARA ノ名ヲ與ヘ、米國産ト比較研究ノ後記載ヲ發表スル。いうれいたけもどきノ産地ハ上記武藏高麗村ノ外、武藏三ツ峯、常陸筑波山、駿河富士山デアルガモツト廣ク分布シテキルモノト想像サレル。終ニ久內淸孝氏ノ何時モナガラノ御好意ニ對シ深ク感謝スル。　　（原　寛）

〔附記〕上記ノ論文ハ著者ガ渡米ノ途中ハワイヨリ投函サレタモノデアルガ、同氏出發ノ後、佐竹義輔博士ハ鄕里秋田縣湯澤町附近ニテ眞正ノ *Monotropa* ヲ得ラレ、更ニ朝比奈博士モ武藏伊豆ケ岳ニ於テ去ル十月ニ採集サレタ。　　（佐藤正己）

○ 東京市內ニ繁殖スル Wolffia 屬ニ就イテ

本年 10 月末日ニ東京府立七中附近ノ溜池デ採集シタ浮草ノ一種ヲ調ベテ見ルト *Wolffia arrhiza* WIMMER. デアツタ。發生ノ場所ハ精シクハ東京市向島區寺島町內ノ小倉別邸ノ跡